

2020年度 豊岡市域の温室効果ガス排出量について 《2023年10月13日作成》

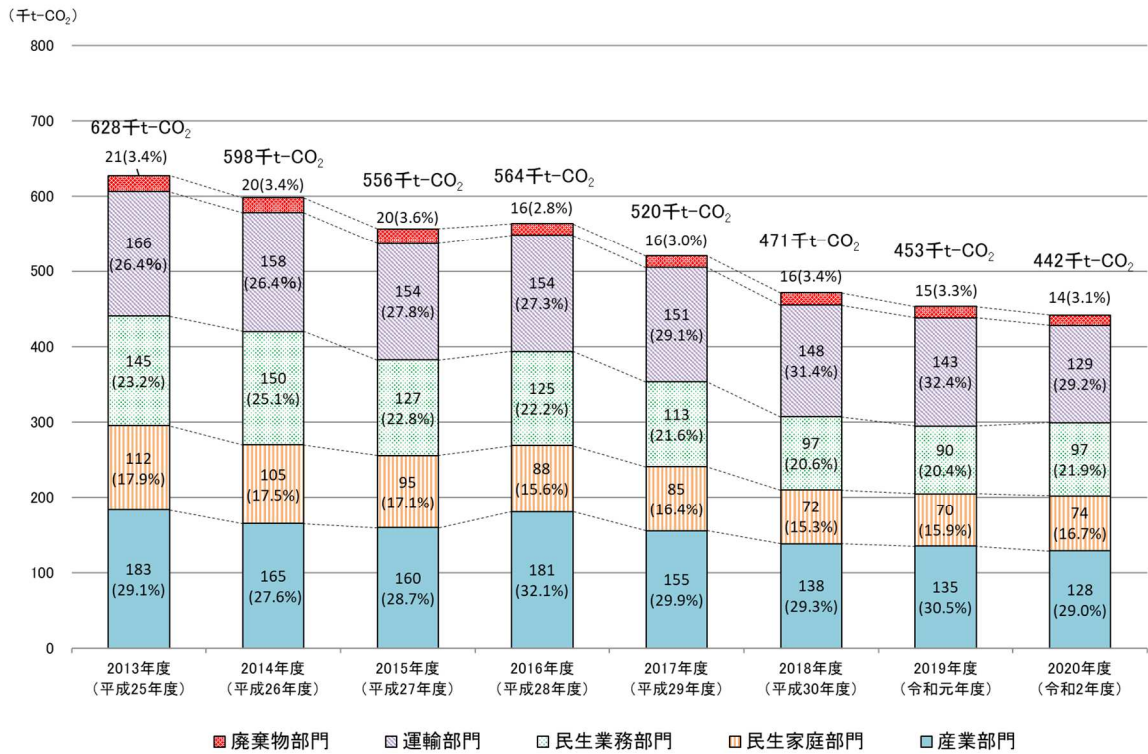
市では2030年度の市域の温室効果ガス排出量が2013年度比で▲28.1%とする目標を立て、脱炭素化の取組みを進めています。このたび、2020年度の市域の温室効果ガス排出量を算定しましたので、お知らせします。

1. 市域総排出量

2020年度総排出量は、442千t-CO₂で、2019年度に比べ11千t-CO₂減少(2.4%減)しました(国：5.1%減、兵庫県：3.1%減※)。

また、豊岡市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の基準年度(2013年度)に比べ186千t-CO₂減少(29.6%減)しました(国：21.5%減、兵庫県：21.9%減※)。

※ 兵庫県の削減率は、2020(R2)年度の温室効果ガス排出量(速報値)による数値である。



豊岡市の温室効果ガス排出量の推移 (2013年度～2020年度)

2. 部門別増減状況と要因

<状況>

豊岡市部門別 CO₂排出量 (2013 年度・2019 年度・2020 年度の比較)

部門	部門内訳	2013 年度 排出量 (千 t-CO ₂)	2019 年度 排出量 (千 t-CO ₂)	2020 年度 排出量 (千 t-CO ₂)	削減割合 (%) 上段： 前年度比 下段： 2013 年度比	部門割合 2019→2020 (%)
産業	製造業、農 林水産業、 建築業、鉱 業	183	135	128	▲5.2 ▲30.1	29.7→29.0
民生 家庭	自動車を除 く家庭消費	112	70	74	5.7 ▲33.9	15.5→16.7
民生 業務	事務所、ビ ル、ホテル、 サービス業 など	145	90	97	7.7 ▲33.1	19.9→21.9
運輸	乗用車、バ ス、鉄道、飛 行機など	166	143	129	▲9.8 ▲22.3	31.6→29.2
廃棄物	廃棄物の埋 め立て及び 焼却、下水 処理	21	15	14	▲6.7 ▲33.3	3.2→3.1
合計	—	628	453	442	▲2.4 ▲29.6	—

※ 端数処理の関係で、内数と合計が一致しない場合があります。

<要因>

・民生業務部門

前年度に比べ 7.7%増加しました。電力の CO₂ 排出係数（電気を作るために発生する CO₂ の割合：2019 年度 0.318kg-CO₂/kWh、2020 年度 0.351kg-CO₂/kWh）が大きくなったことと併せ、従業者数の比率（市/県）が増加した※ことにより、市の消費電力量が増加したことが要因と考えられます。

※2019 年度分までは「平成 28 年経済センサス」に基づいて数値を算出していましたが、2020 年度分からは「令和 3 年経済センサス」に基づいて数値を算出しており、新たに「公務部門」が追加されています。

・民生家庭部門

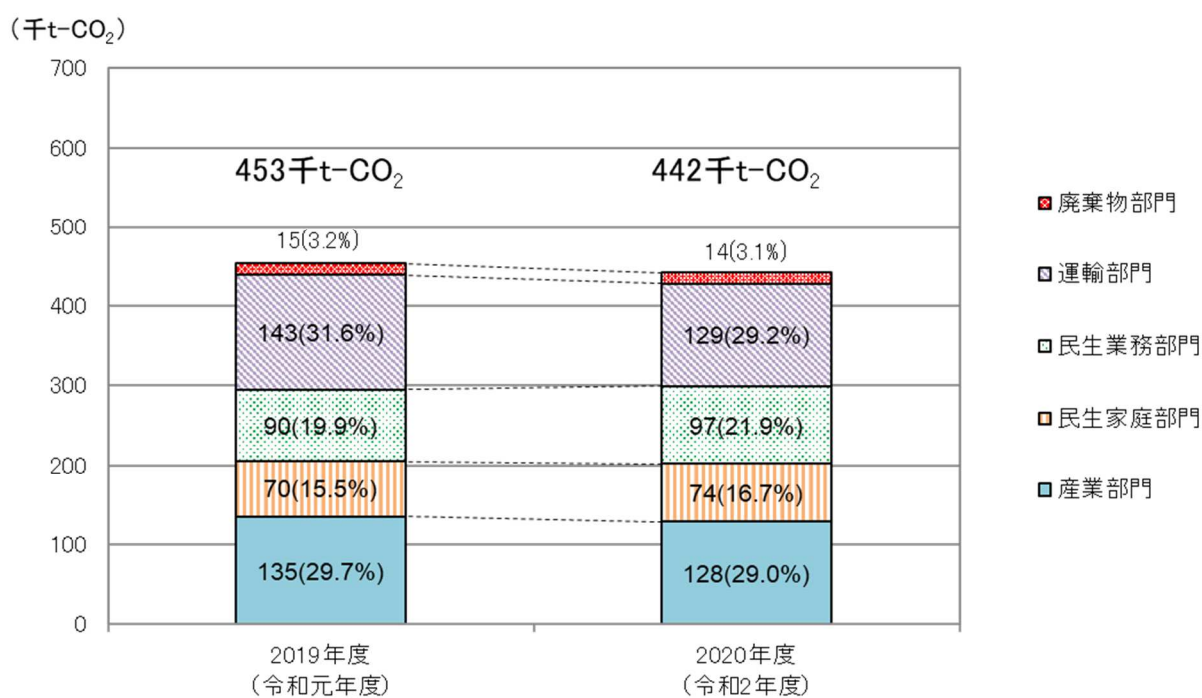
前年度に比べ5.7%増加しました。電力のエネルギー消費量は減少（前年度比△2.7%）しているものの、電力のCO₂排出係数が大きくなったことが要因と考えられます。併せて、都市ガス、灯油、LPGの消費量が増加（前年度比1.7%）しており、豊岡市の世帯数の増加（45世帯増）が影響していると考えられます。

・運輸部門

前年度に比べ9.8%減少しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に起因する旅客及び貨物輸送量の減少により、自動車一台当たりの燃料消費量が大きく減少（前年度比△9.1%）したことが要因と考えられます。

・産業部門

前年度に比べ5.2%減少しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に起因する製造業の生産量の減少に伴うエネルギー消費量の減少（前年度比△9.2%）が要因と考えられます。



豊岡市の温室効果ガス排出量の推移（2019年度・2020年度）